



分母が大きいため一度の出現で安心するのは危険だが、通常BB確率とチャンスチェリー確率は要チェック。複数回の出現を確認できれば高設定期待度大幅アップだ。

「み」押し順ナビによりベルが頻繁に揃うことで、ART中では対決頻度が大幅アップする……という活かし方ね。なんだか頑張りそうな気がしてくるじゃん。チャンス役待ちのゲーム性だったら、こうはいかないでしょ。そんな短いゲーム数でチャンス役なんて引けないだろってなっちゃうから」

「ベル規定回数ゲーム性の力」
「本機を語る上で欠かせないのが、これまでのゲーム数テーブルをヤメて、ベルの規定回数にゲーム性の力ぎを握らせたところだよ。人気シリーズでありながら、大きくゲーム性を変えてきたってことはスゴいことだよ」

「確かに。変えすぎて失敗した……なんてケースもあるけど、本機については完全に成功してるもんね。番長らしさもあるし」
「そうなんだよ。しかも、ART機の特性も活かしてるでしょ？」
「気持ちは……ね」

「あ、モード移行のタイミングも規定ベル到達時の対決起点でしょ。これまでの番長シリーズに比べて、抜群にサンプルを集めやすくなってるんだよ」
「それはある！ただ、ベル回数に注目するがあまりゲーム数のことを忘れがちになるよね。パッとデータを見上げたら大ハマリしてた……とかあるでしょ」
「あるなあ。でも、それぐらい上手くできてるってことだよ。ゲーム数テーブルマシンだと常にゲーム数を気にしちゃうから、よりハマってるって感じがしちゃうよ」

練習こまれたゲーム性とAT機に劣らぬ出玉性能

「ベル規定回数ゲーム性の力」
「本機を語る上で欠かせないのが、これまでのゲーム数テーブルをヤメて、ベルの規定回数にゲーム性の力ぎを握らせたところだよ。人気シリーズでありながら、大きくゲーム性を変えてきたってことはスゴいことだよ」



「あ、モード移行のタイミングも規定ベル到達時の対決起点でしょ。これまでの番長シリーズに比べて、抜群にサンプルを集めやすくなってるんだよ」
「それはある！ただ、ベル回数に注目するがあまりゲーム数のことを忘れがちになるよね。パッとデータを見上げたら大ハマリしてた……とかあるでしょ」
「あるなあ。でも、それぐらい上手くできてるってことだよ。ゲーム数テーブルマシンだと常にゲーム数を気にしちゃうから、よりハマってるって感じがしちゃうよ」

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
みそ	0									0
ハマ										



「さ、推し台 タイガーVSドラゴン」も今回から第二試合がスタート。早速、推し台を紹介していくとしますかね」
「いやいや、おかしいだろ。一試合目は僕が勝ったわけだし、もうちょっとお褒めの言葉とか、参りましたみたいな感想のくだりがあっても良いんじゃないの？」
「そんなもんあるわけないでしょ。パチスロライターという職業に区切りなんてないし、そもそも一試合目は教授が点数の付け方に慣れてなかったからね」
「負けをこまかさうとしてるけど、何一つ納得できる理由がないよ……ま、二試合目も僕が勝つから別に良いけど」
「いやいや、一試合目でオレも試合の運び方を覚えたわけだし、簡単に負けるわけじゃないでしょ。ただ、一つだけ不安要素があるっちゃあるんだよね」
「ん？なに？」
「第二試合の途中でパチスロ機に強烈な変化が訪れることですよ。だって、5.9号機の導入がスタートするわけですよ。現時点でどういうシステムになるのかが見えないから」

「あ、モード移行のタイミングも規定ベル到達時の対決起点でしょ。これまでの番長シリーズに比べて、抜群にサンプルを集めやすくなってるんだよ」
「それはある！ただ、ベル回数に注目するがあまりゲーム数のことを忘れがちになるよね。パッとデータを見上げたら大ハマリしてた……とかあるでしょ」
「あるなあ。でも、それぐらい上手くできてるってことだよ。ゲーム数テーブルマシンだと常にゲーム数を気にしちゃうから、よりハマってるって感じがしちゃうよ」

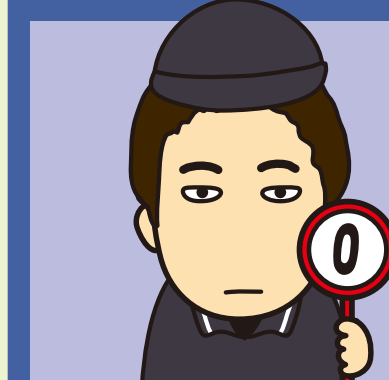
「さ、推し台 タイガーVSドラゴン」も今回から第二試合がスタート。早速、推し台を紹介していくとしますかね」
「いやいや、おかしいだろ。一試合目は僕が勝ったわけだし、もうちょっとお褒めの言葉とか、参りましたみたいな感想のくだりがあっても良いんじゃないの？」
「そんなもんあるわけないでしょ。パチスロライターという職業に区切りなんてないし、そもそも一試合目は教授が点数の付け方に慣れてなかったからね」
「負けをこまかさうとしてるけど、何一つ納得できる理由がないよ……ま、二試合目も僕が勝つから別に良いけど」
「いやいや、一試合目でオレも試合の運び方を覚えたわけだし、簡単に負けるわけじゃないでしょ。ただ、一つだけ不安要素があるっちゃあるんだよね」
「ん？なに？」
「第二試合の途中でパチスロ機に強烈な変化が訪れることですよ。だって、5.9号機の導入がスタートするわけですよ。現時点でどういうシステムになるのかが見えないから」



「さ、推し台 タイガーVSドラゴン」も今回から第二試合がスタート。早速、推し台を紹介していくとしますかね」
「いやいや、おかしいだろ。一試合目は僕が勝ったわけだし、もうちょっとお褒めの言葉とか、参りましたみたいな感想のくだりがあっても良いんじゃないの？」
「そんなもんあるわけないでしょ。パチスロライターという職業に区切りなんてないし、そもそも一試合目は教授が点数の付け方に慣れてなかったからね」
「負けをこまかさうとしてるけど、何一つ納得できる理由がないよ……ま、二試合目も僕が勝つから別に良いけど」
「いやいや、一試合目でオレも試合の運び方を覚えたわけだし、簡単に負けるわけじゃないでしょ。ただ、一つだけ不安要素があるっちゃあるんだよね」
「ん？なに？」
「第二試合の途中でパチスロ機に強烈な変化が訪れることですよ。だって、5.9号機の導入がスタートするわけですよ。現時点でどういうシステムになるのかが見えないから」

「さ、推し台 タイガーVSドラゴン」も今回から第二試合がスタート。早速、推し台を紹介していくとしますかね」
「いやいや、おかしいだろ。一試合目は僕が勝ったわけだし、もうちょっとお褒めの言葉とか、参りましたみたいな感想のくだりがあっても良いんじゃないの？」
「そんなもんあるわけないでしょ。パチスロライターという職業に区切りなんてないし、そもそも一試合目は教授が点数の付け方に慣れてなかったからね」
「負けをこまかさうとしてるけど、何一つ納得できる理由がないよ……ま、二試合目も僕が勝つから別に良いけど」
「いやいや、一試合目でオレも試合の運び方を覚えたわけだし、簡単に負けるわけじゃないでしょ。ただ、一つだけ不安要素があるっちゃあるんだよね」
「ん？なに？」
「第二試合の途中でパチスロ機に強烈な変化が訪れることですよ。だって、5.9号機の導入がスタートするわけですよ。現時点でどういうシステムになるのかが見えないから」

おのだ教授の採点



今回は0点！
打撃戦と投手戦。どっちが楽しいだろう？野球ならば初心者には前者、大人は後者だね。第1試合が打撃戦だっただけに、第2試合は大人好みの投手戦にしちゃうかな？ということで、今回は0点。2アウト2、3塁のチャンスだったけど、後続倒れて惜しくも無得点です！



推し台タイガー&ドラゴンとは
パチスロライターの使命は、パチスロの面白さを伝えることである。……ということ、自身の推し台をみそ汁と濱マールが先攻後攻に分かれて猛烈アピール。おのだ教授に採点してもらい、アピールの上手さを競い合う。勝利したからと言って特典があるわけではないが、最高のパチスロライターを目指すためにも手抜きは厳禁。9回裏まで全力勝負だ！

0対0 1回の表 みその攻撃